

議会改革に向けて検討を進める事項

1. ICT化の取り組み **※継続**

タブレット端末の導入について、検討を行ってきたが、費用負担や運用基準等について、課題の整理や研究を進める必要がある。

また、庁内全体でペーパーレス化や費用対効果等について、十分な協議や調整が必要なことから、今後も必要に応じて検討を行う。

●経過

○チームICTを立ち上げ、意見交換を実施。ペーパーレス化も含めたタブレットPCについて、情報共有のアプリ「ラインワークス」の試行などを協議。

2. 災害時における議会对応 **※継続**

災害時においても大磯町議会基本条例の第2条に規定する議会の使命を果たすため、災害時における議会の対応について、検討を進める。

●経過

OR4.4.15 大磯町議会災害対応基本方針、大磯町災害時対応規程を策定

OR4.6.26 町総合防災訓練時に、同規程に基づく安否確認訓練を「安否確認メールシステム」により実施

3. 町民意見をさらに聴くための取り組み **※継続**

町民の意見を気軽に聴くことが出来る体制を整えるため、意見交換や聴聞会等の実施について検討を進める。

●経過

○議会基本条例上の「一般会議」を有効に活用し、取り組みを進めていく。

- ① 一般会議の開催（募集・PR等）に当たっては、親しみやすいサブタイトル等を付けて、周知を図り運用していく。
- ② 議会から、町政等の課題に関連する団体等へ開催を投げかけていく。
- ③ 「議会報告会」のあり方を検討し、「一般会議」と合わせ、「町民意見をさらに聴くための取り組み」を充実させていく。

4. 議会報告会のあり方について **※新規**

例年開催されている議会報告会は、予算審査及び決算審査の報告をベースに実施しているが、内容のマンネリ化や参加者の固定化など課題が多く挙げられている。

多くの町民参加を促し、町民に身近な課題や町の施策など、町民と活発に意見交換ができる議会報告会とするため、協議・検討を行う。

5. 町議会と町長の同時選挙について **※新規**

本町は町長選挙と町議会議員選挙が別日程であることから、選挙経費や投票率、また議員任期中の退任などの課題が挙げられている。次期議会の改選時に向け、同時選挙のあり方について、協議・検討を行う。

6. 大磯町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例について **※新規**

○議員報酬の見直しについて

都道府県議会議員に比べ、町村議会議員の報酬額の低さが、町村民の立候補を妨げているとの指摘がある。志のある誰もが町議会議員へ挑戦できる環境づくりのために、議員報酬の見直しについて、協議・検討を行う。

○長期欠席者の減額条項について

現行では、議員が長期欠席した場合でも報酬額を減額する条項はなく、通常どおり支給されている。議員の責務と町民への説明責任を果たすために、長期欠席者の報酬減額条項について、協議・検討を行う。